

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 12 No.16 2010年8月31日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2010 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

ポリコムジャパン、Polycom OTX を発売、テレプレゼンスソリューション拡充



Polycom OTX 300(ポリコムジャパン資料)

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、「Polycom OTX 300(Polycom Open Telepresence Experience、ポリコム オープン テレプレゼンス エクピリエンス)を7月28日に発表。同社からはすでに、4名用から28名用まで対応した「Polycom RPX」、「Polycom ATX 300」、「Polycom TPX」が販売されているが、今回 Polycom OTX 300 を追加することで同社のテレプレゼンスソリューション拡充を行う。

Polycom OTX 300 は、国際標準規格に対応したテレプレゼンスシステム。映像プロトコルは、H.264 ハイプロファイル、解像度は、1080p フル HD、また、音声については、超広帯域ステレオ音声に対応。さらに、データ会議には、HD コンテンツに対応し、QoS には、Lost Packet Recovery(ロストパケットリカバリー)機能を搭載している。

その他の特長としては、「Microsoft Outlook」を使って容易に会議の予約や参加ができる「Polycom Conferencing for Outlook」の対応や、「Microsoft Office Communications

Server」および「Microsoft Exchange Server」などのマイクロソフトのUC環境へのネイティブな統合が可能となっている。同社のテレプレゼンスおよびビデオ会議ソリューションは、Polycom Open Collaboration Network 戦略の一環として、主要なユニファイドコミュニケーションおよびネットワークプラットフォームとの統合に対応している。

Polycom OTX 300 のデザインについては、前面と背面の壁や、最適なスタジオ照明によって、音響や映像品質を向上する構造になっている。また遠隔地と会議室環境を統一することにより、会議に集中し、一体感のある自然なコミュニケーションとコラボレーションを実現することができる。同社では説明する。さらに、テレプレゼンスでの会議をおこなわない時には、PC 資料表示を使った通常の会議室としても使用が可能。モジュラー式でオフィスレイアウトや移転などに合わせて移設がしやすい点も特長だ。

Polycom OTX 300 を含むポリコムのテレプレゼンスソリューションは、ポリコムの認定販売代理店を通じて提供される。出荷開始は、2010年第4四半期に出荷予定。グローバルなサービスおよびサポートには、導入からマネージドテレプレゼンスサービスも含まれる。

NTT アドバンステクノロジーのペーパーレス会議システム、Windows 7やPDFファイルに対応、テレビ会議や音声会議との組み合わせも可能

NTT アドバンステクノロジー株式会社(東京都新宿区)は、ペーパーレス会議システム「MeetingPerfe(ミーティングパフェ)シリーズ」に、新たにWindows 7やPDFファイルに対応した「MeetingPerfe II Pro」を加えた。7月26日より販売開始。(7月6日)

MeetingPerfe シリーズは、電子資料をパソコン上で共有できる、ペーパーレス会議を支援するシステム。接続クラ

クライアントの台数に関わらず、高速な画面連動と紙資料のように自分が見たい資料・ページを閲覧できる独立モードを搭載している。対応するファイル形式は、パワーポイント(.ppt、.pptx)、DocuWorks(.xdw)、PDF(.pdf)。

会議の設定もウィザード形式のため初めて使う人でも簡単に操作できる。これによって、会議直前の資料の差し替えなどにもすぐに対応でき、会議事務局の手間を大幅に軽減することが可能という。

また、MeetingPerfe II Pro は、データ会議用として既存のテレビ会議システムや音声会議システムと組み合わせることもできる。

NTT アドバンステクノロジーによると、ペーパーレス化によって、配布資料にかかる印刷コストを軽減、資料の持ち歩きによる情報漏洩の防止、会議直前まで資料の差し替えや変更が簡単になるといったメリットがあると説明する。

MeetingPerfe シリーズは、これまで一般企業、金融業、製造業、公共関連、学校関連など業種を問わず、179 システム(クライアント台数 6,000 台以上)の納入。ペーパーレス会議システムではトップレベルの導入実績であるという。

ライセンス費(同時接続 20 クライアント)は、105 万円(税込)～。

ポリコムジャパン、H.264 ハイプロファイルへのサポートの拡張

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、国際標準規格に準拠した映像圧縮符号化方式「H.264 ハイプロファイル」へのサポートの拡張を発表した。(7 月 28 日)

現在、H.264 ハイプロファイルは、Polycom HDX シリーズ(Polycom HDX 6000、Polycom HDX 7000、Polycom HDX 8000、Polycom HDX 9000 シリーズ)で対応しているが、今回の発表により、多地点接続サーバ「Polycom RMX 4000」および「Polycom RMX 2000」シリーズ、また、テレプレゼンスソリューション「Polycom RPX」、「Polycom ATX 300」、「Polycom TPX」、「Polycom OTX 300」も対応することになった。

今回の発表によって、エンドツーエンドで H.264 ハイプロ

ファイルに対応したことになるという。

H.264 ハイプロファイルは、512kbps で HD 画質、また 128kbps で DVD 並の SD 画質を実現する。これは、テレプレゼンスおよびビデオ会議に必要なネットワーク帯域幅を最大 50%削減することになる。これによって、導入による費用対効果を高め、迅速な投資回収が可能になるとポリコムジャパンでは説明する。

ロジクール、1080p・ステレオマイク内蔵など、HD に対応したウェブカメラの新製品を発表

株式会社ロジクール(東京都港区、Logitech International 社の日本法人)は、HD(720p もしくは 1080p)に対応したウェブカメラの新製品、4 機種 6 製品を発表した。(8 月 10 日)

このうち 3 機種 5 製品(「ロジクール HD プロ ウェブカム C910」、「ロジクール HD プロ ウェブカム C310」、「ロジクール HD プロ ウェブカム C310h」、「ロジクール HD プロ ウェブカム C270」、「ロジクール HD プロ ウェブカム C270m」)については、8 月 27 日に発売。また、「ロジクール HD プロ ウェブカム C510」は、今年の秋に発売予定。これらのウェブカメラの中で、1080p に対応したものは、C910、その他は、720p に対応。

今回発表されたウェブカメラは、フェイストラッキングや、4倍デジタルズーム、30 フレーム/秒などにも対応しており、「Logicool Fluid Crystal テクノロジー」も採用されている。この Logicool Fluid Crystal テクノロジー技術によって、スムーズな動き、豊かでリアルな色、クリアな映像によるテレビ電話、動画撮影機能を実現するという。

これらのウェブカメラは、無料で公開されている「Logicool Vid HD ソフトウェア」を併用することで 720p 品質のテレビ電話が簡単に行えるという。また、C910 を使用することで、ステレオ音声のテレビ電話も可能。

Logicool Vid HD ソフトウェア以外の主要なテレビ電話ソフトにも対応しており、「Skype Certified」、「Optimized for Windows Live」ロゴを取得しており、スカイプや

Windows Live メッセンジャーの他、Yahoo!メッセンジャー、Gmail Voice and Video Chat などの主要なインスタントメッセンジャーすべてのビデオ通話機能に対応している。

その他、Facebook や Youtube へワンクリックで HD 動画のアップロードや、静止画撮影も行える。静止画撮影では、C910 は最大 1000 万画素、C510 は最大 800 万画素、C310 は最大 500 万画素、C270 は最大 300 万画素レベルでの撮影が可能。

価格は、オープンプライス。ロジクールストアでの価格:たとえば、エントリー向けの C270 は、2,480 円。またフラッグシップカメラの C910 は、9,980 円。それぞれ税込み。

製品・サービス動向-海外

ライフサイズ社、システムソフトウェアのバージョンアップによる新しい機能を発表

Logicool International 社(日本法人:株式会社ロジクール)のビデオ会議事業部門である米ライフサイズ・コミュニケーションズ社は、端末製品とインフラ製品において、システムソフトウェアのバージョンアップによる新しい機能を発表。

(7月20日)

ハードウェア端末向けには、システムソフトウェア バージョン 4.7 をリリースした。このバージョン 4.7 を実装した「LifeSize Passport(ライフサイズパスポート)」や「LG Executive(LG エグゼキュティブ)」に対して、今回新たに発表したデータ会議用の無料ソフトウェア「LifeSize Virtual Link(ライフサイズバーチャルリンク)」を組み合わせると、HD ビデオ会議中に、ネットワークに接続された PC や Mac を使ったデータ共有が行えるようになる。パソコンとビデオ会議端末を DVI ケーブルで接続せずとも、ネットワークに接続されたパソコン同士を LifeSize Virtual Link でリンクさせることで資料の共有が行える。LifeSize Virtual Link は、同社サイトからダウンロード可能。

加えて、HD のビデオとレコーディングを、「LifeSize Video Center(ライフサイズビデオセンタ)」を通して、ストリーミングすることができるようになった。

その他では、PC ソフトウェア向けの「LifeSize Desktop(ライフサイズデスクトップ)」のバージョン 2.0 を発表した。バージョン 2.0 によって、データ共有と、720pHD ビデオの送信(encode)もサポートした。

インフラ製品については、NAT やファイアーウォールトラバーサル向けのソリューションとして、「LifeSize Transit Client(ライフサイズ トランジット クライアント)」を発表した。「LifeSize Transit Client」のサーバと組み合わせる。ハードウェアアプライアンスと、バーチャルマシーンオプションで提供する。既存のサーバ環境を変えずに導入できるという。

ビデオ会議端末管理用のシステム「LifeSize Control(ライフサイズコントロール)」のバージョン 5.0 を発表した。バージョン 5.0 では、新たに、LifeSize Desktop、LifeSize Video Center の他、Google カレンダーやスケジューリング機能、管理者画面のカスタマイズなどに対応した。LifeSize Control は、どのようなビジネス環境においてもフィットするように設計されている点が特長であるという。

日本 IBM、 Lotus Sametime 関連コラボレーション新製品を発売

日本 IBM 株式会社(東京都中央区)は、「IBM Lotus Sametime Unified Telephony 8(IBM ロータス セイムタイム ユニファイド テレフォニー 8)」と、「IBM Lotus Sametime」の新バージョン「Lotus Sametime Standard 8.5.1」を発表した。(7月28日)7月30日より提供開始。

IBM Lotus Sametime Unified Telephony 8 は、PBX などの電話システムと連携し、固定電話、携帯電話、構内 PHS、IP 電話、ソフトフォンなどの端末を効率的に活用できるソフトウェア。

インスタント・メッセージング機能を提供する Lotus Sametime と統合して活用することで、電話帳からコミュニケーションをとりたい相手の不在、会議中、あるいは電話中などの在席状況を確認して、ワンクリックで電話をかけたり、電話会議を即座に開始したりすることができる。

着信時には、指定した端末で通話することや、また不在の際には、適切な端末へ自動転送も可能。

メリットとしては、相手の場所や使用環境を意識することなく発信することができ、無駄な発信を避けることなど、メール以外の手段でより確実に相手とやりとりできるようになるという。

ファイル送信を含むテキスト・チャット、Web 会議などリアルタイムのコミュニケーションが行える Lotus Sametime の新しいバージョン Lotus Sametime Standard 8.5.1 では、対応する OS やモバイル機器の拡張、そして Web 会議の映像品質と安定性の向上などが行われている。

OS については、「Windows 7」、「MacOS 10.6」、「Linux」に対応し、モバイル機器については、現在対応している「Windows Mobile」、「Nokia」、「Apple iPhone」の他、新たに「Blackberry Storm2」、「Blackberry Bold2」に対応した。

一方で映像品質については、フル HD(1920x1080)の高解像度に対応した。

使用料金については、IBM Lotus Sametime Unified Telephony 8 は、22,170 円/1 ユーザ。ただし、前提として IBM Lotus Sametime Standard が必要。また、Lotus Sametime Standard 8.5.1 については、10,300 円/1 ユーザ。価格は税抜き。

今回発表された製品は、日本 IBM および IBM ビジネス・パートナー経由で提供する。

ビジネス動向-海外

グローバルクロッシング社とテリリス社、マネージドテレプレゼンスソリューションで提携

米グローバルクロッシング社(Global Crossing)と、米のテレプレゼンスメーカーのテリリス社(Teliris)は、マネージドテレプレゼンスソリューションで提携したと発表。(8月9日)

グローバルクロッシング社は、同社のグローバル IP ネットワークを使い、テリリス社の 6G プラットフォームをベースにしたマネージドテレプレゼンスソリューションをワールドワイドに提供する。このマネージドテレプレゼンスソリューションは、

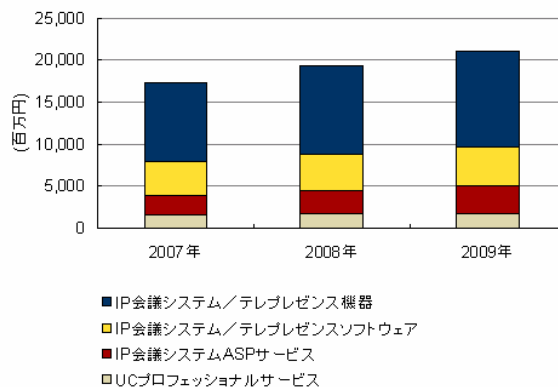
グローバルクロッシング社のマネージドビデオ会議サービスのひとつとして提供される。

テリリス社の 6G プラットフォームは、アジャイルソフトウェア開発手法を使い開発した、クライアントサーバベースのソフトウェアアーキテクチャーを採用しており、ローエンドは約 5,000 ドルからハイエンドはエンタープライズスイートまで提供している。また相互接続オプションも提供している。

市場動向-国内

IDC Japan、国内 IP コンファレンス市場、企業ユーザ利用動向調査結果を発表

IT 専門調査会社 IDC Japan 株式会社(東京都千代田区)は、「2010 年国内 IP コンファレンスソリューション市場 企業ユーザ動向調査」(J10070104)を 7 月に発行した。(8月9日)



国内 IP 会議システム/テレプレゼンス市場 エンドユーザー価格に基づくセグメント別売上実績、2007 年～2009 年 (IDC Japan 資料)

IDC Japan では、従来から「IP 会議システム/テレプレゼンス市場」の調査を行ってきたが、今回の調査レポートでは、一般回線や ISDN 回線を利用した「レガシー型会議システム」と、IP ネットワークを利用した「IP 会議システム/テレプレゼンス」の両方について、企業ユーザの利用状況や受容性について調査した。

2009 年の IP 会議システム/テレプレゼンス市場の市場規模は、前年比 8.8%増の 210 億 9,400 万円となった。市場が堅調に拡大している理由として、出張旅費の削減、

出張時間の節約など経費削減や効率化の効果がユーザに分かりやすいためであると同社では分析している。加えて、2009 年前半に流行した新型インフルエンザの影響から、パンデミック対策として IP 会議システムが多く導入されたのではないかとみている。

IDC では、国内の従業員 100 人以上のユーザ企業 511 社に対して、利用動向と今後の導入意向などについても調査した(2010年2月)。この結果によると、現在何らかのコンファレンスソリューションを利用しているユーザは、全体の 62.4%、また、ビデオ会議を利用しているユーザは、全体の 41.9%であった。全体の傾向としては、500 人以上の企業では、利用率が高く、一方で 500 人未満の企業では利用率が低いという。

さらに、将来の導入意向については、簡易な Web 会議サービスと自営 IP 高精細ビデオ会議システムの 2 極化傾向があると IDC ではみている。

今回の調査レポート「2010 年国内 IP コンファレンスソリューション市場 企業ユーザー動向調査」の詳細または購入方法についての情報は、同社ウェブサイトにて提供されている。

セミナー・展示会情報

< 国内 >

IDG Cloud Computer World Tokyo 2010
セミナーセッション クラウド導入の悩みを全て解決！
～今や Web 会議はクラウドの時代に！～

日時:9月1日(水)14:00～14:40

会場:東京国際フォーラム

講演:株式会社ブイキューブ 代表取締役社長 間下 直晃 氏

主催:株式会社IDGインタラクティブ

詳細・申込:<http://www.nice2meet.us/ja/news/index2.php?id=428>

テレビ会議導入実践セミナー

日時:9月8日(水)15:00～17:00(受付開始:14:30～)

会場:日立ハイテクノロジー関西支店

主催:株式会社日立ハイテクノロジー

詳細・申込:

<http://www.hitachi-hitec.com/jyouhou/hitec-vision/seminar/index.html>

会議の効率化を実現!

『ConforMeeting 無料体験セミナー』 定期開催

日程:9月1日(水)、8日(水)、15日(水)、22日(水)、29日(水)※全ての日程で14:00～15:00、16:00～17:00の2回開催

会場:NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:NEC、NEC 情報システムズ

詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

Flexible Cost Saver 無料 web 会議体験セミナー

日時:+東京(当社東京オフィスにて)

9月8日(水)14:00-16:00、9月29日(水)14:00-16:00

+大阪(当社大阪オフィスにて)

9月15日(水)15:00-17:00、9月27日(月)15:00-17:00

会場:エフ・シー・エス 東京オフィス/大阪オフィス

主催:株式会社エフ・シー・エス

詳細・申込:<http://costsaver.jp/index.html#seminar>

『クラウドコンピューティングで劇的経費削減&効率化の方法』実際のクラウド利用方法:ワークスタイル革新で劇的経費削減と推進力増強

日時:9月17日(金) 13:30～17:00(13:00 開場)

会場:渋谷区商工会館 2F セミナー室

主催:ニューロネット株式会社

共催:ライド株式会社

詳細・申込:<http://neuronet.co.jp/seminar/s100917.html>

Web 会議の導入のポイントと事例紹介セミナー

日時:9月17日(金)14:00-15:25 (受付開始 13:30)

会場:富士ソフトアキバプラザ プレゼンルーム(7F)

(東京 秋葉原)

主催:PGI/プレミアコンファレンシング株式会社、

シスコシステムズ合同会社

内容・詳細:<http://www.premiere-marketing.jp/kaigi/seminar/index.html>

IT pro EXPO 2010 ビジュアルコミュニケーション 2010

日時:10月18日(月)～20日(水)

会場:東京ビックサイト東4-6ホール

主催:日経 BP 社

詳細・申込:<http://itpro.nikkeibp.co.jp/expo/2010/vc/index.shtml>

*展示と、講演(ビジュアルコミュニケーションフォーラム)。講演では、シード・プランニングの市場動向の講演あり。

編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。

「遠隔会議&UC研究会」を LinkedIn に開設(8月18日)しました。遠隔会議やUCの可能性について意見交換や情報交換、またネットワーキングが行えればと思っています。詳細は、下記 URL をご覧ください。今のところ私を入れて11名です。参加、退会は自由です。費用もかかりません。

詳細:<http://www.linkedin.com/groups?gid=3317483&about=>

次回もよろしくお願ひ致します。 (橋本啓介)